



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和3年度 第6号
2021. 8. 26

何事も懸命に 懸命な人を大切に

1日延長された夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。今学期には、紫龍祭文化の部を皮切りに、体育の部、新人戦、生徒会役員選挙、各学年の校外学習活動など、様々な活動が予定されています。それぞれ得意なこと、苦手なことがある人が多いと思いますし、上にあげたような学校の活動に対しても、楽しみなものもあれば、苦に感じるものもあるのは当たり前のことです（ちなみに私は運動が苦手だったので、運動会は雨が降ればいい、と願った一人です(^^;)）。ただ、「苦手だからやらない」「嫌だからやらない」というのは、眠っている可能性を目覚めさせる邪魔をしているかもしれません。「中学生の時にやった〇〇がきっかけで、この仕事につきました」という人は皆さんの周りにも何人かいるのではないのでしょうか。そういう意味でも、どんなことも懸命にやってみることはとても大切なことだと思います。

また、2学期の様々な行事を成功に導くために中心になって頑張る人がいます。そういう人にとって、何より心強いのは「仲間の支え」だろうと思います。オリンピックのメダリストの言葉が記憶に新しいですが、スポーツの分野以外でも何かを成し遂げた人たちが口々に言うのが仲間への感謝の気持ちです。頑張る人、懸命な人を支える仲間の存在がとても大きいことを物語っていますね。実は、「何事も懸命に 懸命な人を大切に」は人を大切にすることでなく、自分も大切にされること、つまり誰もが大切にされることをめざして考えた言葉です。この2学期、竜王北中のすべてのみなさんがお互いを大切にし合い、大満足で過ごせることをめざしていきましょう。

2学期の学校生活を止めないために

8月に入って全国的に新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大するなか、山梨県でも過去最多の新規感染者数を更新しながら「災害級の」感染拡大が続いています。県がまん延防止等重点措置の適用を受ける前から、県独自の要請を受けて、甲斐市でも学校において部活をはじめとする、人がたくさん集まって行う活動に対して自粛を求めてきましたが、2学期が始まり、学園祭や修学旅行、校外学習、さらには3年生の受検などに向けた取組はSTOPさせておくわけにはいきません。そのために様々な工夫が必要なわけですが、健康を守ること、すなわち命を守ることが最優先であることは言うまでもないことです。つまり、様々な活動を実施するためには、十分な感染対策が必要であるということです。ニュースなどで聞く「緊急事態宣言慣れ」のような、対策の緩みは竜王北中には無縁なものであると言えるように、再度何をすべきか、何をすべきでないか、確認しておきましょう。

夏休み中に行われた各種大会での活躍

山梨県教育委員会が主催者や共催者として名を連ねているいわゆる「教育内大会」の表彰者と、その上位大会への参加者についてのみ紹介します。

- 〈県総体〉 陸上部：小宮山 歩（2年男子砲丸投げ 第2位）
林 亜衣梨（1年女子走り幅跳び 第3位）
- 〈山梨県吹奏楽コンクール〉 吹奏楽部（中学校部門Bの部 銀賞）
- 〈関東中学校ソフトテニス大会〉 雨宮 夢奈・望月 杏珠（ダブルス個人戦）
- 〈関東中学校陸上競技大会〉 林 亜衣梨（1年女子走り幅跳び）

感染症対策と免疫力アップに

「ねこのしっぽ」

- ね：ねる・睡眠をしっかりとする
- こ：こまめに手を洗う
- の：飲み物・水分補給
- し：食事・三食しっかり食べる
- つ：強い体・適度な運動を
- ぽ：ポジティブな明るい気持ちで

ご家庭に感染症対策についてのお願い

（今まで通りですがあらためてご確認ください。）

- ・登校前に、各家庭において検温と体調チェックを行い、発熱や咳、倦怠感があるなど体調不良時は登校させないようお願いいたします。「健康チェック表」の記入確認もお願いいたします。
- ・同居のご家族の皆様も、毎日の体調確認に取り組んでいただくとともに、心配な症状がある場合には生徒の登校についてもご配慮ください。
- ・生徒本人や同居のご家族が濃厚接触者に指定されたり、PCR検査を受けることになったときには、学校に連絡をお願いいたします。休日は甲斐市役所（055-276-2111）に、学校に緊急の連絡を取りたい」と伝え、学校名・学年・氏名・連絡先の電話番号のみ伝えてください。